

IEI

◆◆ 東野便り ◆◆
HIGASHINO DAYORI06
学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

「指折り数えること」について

東野高等学校 校長 北村 陽子

謹啓

師走の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年もあとわずかになりました。昨年の今頃は、来年こそは新型コロナウイルス感染症も克服できるのではないかと期待していたことを思い出しますが、現在でも、予断を許さない日々が続いています。

しかしながら、学校における行事等で実行に移せたことは、だいぶ増えました。実行の時を楽しみに**指折り数えて待つ**ことの豊かさを出来るだけ現実のものにしたいと考え続けた2学期でした。**指折り数えて待つ**ことには、祈りのような感情が含まれているように思います。

さて、2学期において、**指折り数えて待ち**実行できた行事・企画・部活動を振り返ってみます。

●今までとは異なった形式で行った文化祭・体育祭。

この状況下でどのような形式なら実施できるのか、まさしく試行錯誤の日々でしたが、生徒たちは、ごく自然に変化を受け入れ、さらに向上させ、さらりとやってのけました。大人が先回りをして手を貸しすぎるのは、無意味な事のようにさえ感じました。『行事が無いと面白くない』と言った3年生の思いに少しは添えられたとしたら安堵の気持ちも多少広がります。

●いくつかの奇跡ともいえる事実が重なって実現できた太鼓芸能集団 鼓童の鑑賞会。

今年度の芸術鑑賞会について、日本の音楽を中心に実施できたらと担当教諭が考えているようだと知ったその時から、だったら鼓童の演奏を全校生徒と共に聴けたらと願いました。そして、演奏者のスケジュール、会場の状況、学校としての日程それらのバランスがおおよそ網羅することが出来る日が一日だけあり、奇跡的に実現できたと言っても過言ではありません。太鼓の響きに祈りを込め**指折り数えて待つ**、時の流れの豊かさを振り返りつつ感じました。

●2年生の修学旅行は、最終的に目的地を北海道に。

行事が生徒たちに及ぼす影響力の大きさは知っているつもりですので、『どうしても、修学旅行に行かせたい』その思いを常に持ち続けました。そして、実施後の生徒の感想からは、『すべてが新鮮で楽しく吸収することも多く、特にアイヌ民族については考えさせられることはたくさんありました。コロナ禍ですが修学旅行に行けたことに感謝の気持ちを忘れることはありません』『ずっと笑っていた5日間でした』『全力で楽しめ全力で学べた経験をこれからの学校生活や進路決定に活かしていきたい』・・・等。修学旅行に関しては、始められることよりも、滞りなく終わられることを**指折り数えた**ような気がいたします。

学校法人
盈進学園 東野高等学校〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN
SCHOOL FOUNDATION HIGASHINO HIGH SCHOOL112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665



東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

● 2年生Iクラス全員が参加した3か月間のカナダ留学。

1月にカナダから戻った生徒たちは『自分に自信が持てるようになった』『海外大学進学もしっかり視野に入ってきた』等話してくれました。たった3か月かもしれませんが、日本を離れて外から様々なものを見て体験して学ぶことによって、計り知れない刺激を受けたことは確かなようです。無事に帰国できるようにその日を**指折り数えて待ち**ました。

● そのほかには、英検週間・1年生のTGG・東野教養講座などほとんどの行事を行うことが出来ました。部活動でも、ダンス部・吹奏楽部が全国大会に出場するなど、多少大会の形式は変わったとしても、活躍を認められることが出来て本当に良かったと思っています。

● 3年生は、総合型選抜試験・学校推薦型選抜試験での結果が出つつあります。今のところ全体では順調です。今年の3年生は、特に2年生からの基礎固めが実を結んでいる部分が大いと言えます。「知識は第一の宝」であることを実感しつつあるでしょう。

1月15日16日は共通テスト受験日です。一般受験の生徒たちは、今までの努力の成果を発揮する日を**指折り数えて待つ**そんな気持ちで構えましょう。今ある知識を完全なものにして、臨んでほしいと思います。

いずれにしても、コロナ禍後をどう生きるか。変化をキャッチするためにアンテナを高く張り、狭い範囲で満足するのではなく、広い範囲を俯瞰的に捉えられる力を養いましょう。

やはり、「知識は第一の宝」で、豊かな人生を送るためには、相手に対して敬意を表することが必要で、そのためにも、「品行は最高の美」であり、引き続き不安定な世の中に対して「忍耐は無上の力」です。

このように質の高い建学の精神を持ち得ていることが、誇りともいえるべきであり、この建学の精神こそ私たちにとっての礎です。

年末年始には、コロナ禍後の世の中をどう生きるか、想像力を働かせて考えてみましょう。この頃私は思います、「ヒトはいつから大人といえるのか」「ヒトはどうなれば大人と認められるのか」その明確な答えは得られていませんが、少なくとも、ヒトを僻んだり妬んだりはしない大人になってほしいと願う2021年年末です。

3学期始業式は、1月8日(土)です。

35期生(現3年生)の卒業証書授与式は3月6日(日)です。当初の予定では3月5日(土)でしたが、本校の受験生手続き日の関係から変更させていただくことをご了承ください。年が改まりましたら、詳しいご連絡をさせていただきます。それでは、くれぐれもご自愛いただき、良いお年をお迎えください。

謹白

今後の予定

1月8日(土) 始業式、百問王

1月11日(火) 1・2年A 模試(ステップ診断)

1月15日(土) 1年I・S 模試(総合学力)

1年A 模試(実力診断)

1月15日(土)～16日(日) 大学入学共通テスト

1月21日(金)～24日(月) 生徒自宅学習

※以下の通り、本校入試によるものです。

21日(金) 入試準備

22日(土)～24日(月) 入試